

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2020年03月07日 Spiegel オンライン版

■ 5億ユーロのプロジェクト：交通相、ミュンヘンにモビリティセンターを作る計画

Für 500 Millionen Euro : Scheuer plant Mobilitätszentrum in München

シュォイアー連邦交通相が、ミュンヘンに「ドイツの未来のモビリティセンター」を作ろうと計画している。モビリティセンターでは、主に代替燃料の開発や都市開発、新たなモビリティ構想に取り組むという。「例えば、ドローンや空飛ぶタクシーも利用するためには、どの主要駅を整備すべきかといった問題を考える」と交通相は語った。交通相はミュンヘンを選んだ理由として、これまでフランクフルトで行われていたモーターショー IAA の開催地がミュンヘンに決定したことも挙げた。

オランダ（ポーランド） 2020年03月12日 telecompaper

■ Play が通信業者を介した道路利用料請求を導入

Play introduces carrier billing for road toll fees

「Play」というブランド名で運営しているポーランドの携帯電話事業者「P4」が、同社の契約者はポーランド国内の自動車専用道路をノンストップで利用し、料金はP4への月々の通話料金の支払いと一緒に支払うことができる」と発表した。支払いは専用携帯端末アプリ「Autopay」経由でできる。Playではこのサービスの手数料は一切取らない予定だ。

イタリア 2020年03月16日 ANAS

■ ANAS の「#ポットホール撲滅」計画：舗装事業に総額3億8,000万ユーロの新規入札公告

ANAS, #BASTABUCHE : 76 Nuovi Bandi Da 380 Million di Euro Per Lavori di Pavimentazione

これで第7ラウンドとなる「#ポットホール撲滅」計画では、これまでに20億ユーロ弱をかけて30,000km近くの車線で舗装工事が実施された。今回の新規入札では、ANASはイタリア全土の少なくとも5,000kmの区間の舗装と路面標示を修復する予定である。

ドイツ（アメリカ） 2020年03月13日 Spiegel オンライン版

■ 米国の報告書：車線増加が渋滞解消につながらないのはなぜか

Studie aus den USA : Warum breitere Straßen nicht gegen Stau helfen

「車線を1本増やせば渋滞は減少する」という考えは、反論の余地がないほど論理的に思えるが、それが必ずしも正しい推論ではないことが米国 Transportation for America (T4A) の報告書で明らかになった。同報告書によると、1993年から2007年の間、全米トップ100の大都市圏のフリーウェイの交通容量は42%増加した。これに対し、同じ期間にこれらの大都市圏の人口は32%増加したが、渋滞によって失われた時間は144%増加した。また、デトロイト地域では人口が減少しても渋滞は増加していった。車線を増やすとその分需要が増え、人々は前よりも頻繁に車に乗るようになるため、より激しい渋滞が新たに発生するという結果となる。

イタリア 2020年03月19日 ANAS

■ サレルノ県的高速道路 A2 号線『地中海高速道路』に新型の中央分離帯用ガードレールを設置

Le Nuove Barriere Spartitraffico Lungo L'A2 'Autostrada del Mediterraneo' in Provincia di Salerno

イタリア国内初導入となるこの分離帯用ガードレールは、ANASの技術者が発案・設計した道路安全設備だ。強化コンクリート製で、道路の狭いスペースでも対応が容易であり、経済性にも優れている。この新型ガードレール「ANAS ナショナル・ダイナミック・バリア」(National Dynamic Barrier Anas: NDBA)の着目すべき点は、38,000 kgの大型車両を用いた衝突試験でも証明された堅牢さで、世界でもユニークなこのガードレールは、その後に発生した2つの交通事故にも持ちこたえた。

イタリア 2020年03月20日 イタリア・アウトストラデー社

■ コロナウイルス拡散防止措置による著しい交通量減少を受け、社会的影響緩和措置の適用に関して労働組合と合意

Firmato Accordo con i Sindacati per L' Applicazione di Ammortizzatori Sociali a Seguito del Netto calo di Traffico per le Misure di Contrasto al Coronavirus

3月9～15日までの交通量は56.3%減、ピーク時間では84%超の減少だった。これは国営時代と民営化後を通じて、会社設立以来最大の交通量の落ち込みである。同社は企業活動を維持・継続するため、本社と地域オフィスでは可能な部署でテレワークを始めている。加えて、雇用の継続を保証するために、社会的セーフティー・ネット「クーラ・イタリア」のレイオフ基金を9週間活用する。この措置に関する通達は当社の約4,700人の全従業員に送られ、道路管理と作業機能の必要性を慎重に分析した結果、対象となるのは1,500人超(フルタイム換算)と考えられている。例えば、スタッフの職務の50%、道路運営上の業務を行う人員の20%、つまり全社平均で30%の従業員が対象となる見込みである。

フランス 2020年03月23日 LeFigaro

■ コロナウイルス：ヴァンシ、2020年の財政目標を断念

Coronavirus : Vinci renonce à ses objectifs financiers pour 2020

3月23日、フランスの建設・公共事業大手のヴァンシは、コロナウイルス危機により2020年の財政目標を断念すると発表した。工事のキャンセル、ならびに空港における利用量の減少によるものである。高速道路の状況としては、フランスでは「最低限の経済活動が維持されている」ことから、大型貨物車両の交通は極端に減ってはならず、影響は比較的小さい状況。

ドイツ 2020年03月25日 Zeit オンライン版

■ ウィルス流行時のシェア・モビリティ：誰もが相乗り(ライドシェア)を避ける状況に

"Shared Mobility": Kaum einer will noch mitfahren

ライドシェアやカーシェアは、バスや鉄道とは異なり、接触する人数をかなり少なく抑えることができる。では今回の新型コロナウイルス危機がシェア・モビリティ浸透の好機となるかといえば、実際はその逆で、ライド

シェアやレンタカーの予約数は激減している。フォルクスワーゲンの子会社 Moia は、同じルートを移動する他の人と1台の車を相乗りする、いわゆるカープーリングの会社だが、ここ数週間は1人で1台を使う場合が多かった。Moia はこれに適応し、現在は1台につき1人の予約者とその同行者での乗車のみ受け付けている。

イギリス (EU) 2020年03月30日 ITS International

■ 来るべき自動運転の時代の姿を示す “Autopilot”

Autopilot highlights shape of Thing

EU のパートナー企業のコンソーシアムが、IoT を利用して自動運転を改善する方法を実証した。自動運転が安全に行われるためには膨大な量の情報を扱う必要があり、そのために IoT を活用しようというのが、欧州委員会の資金で運営される大規模なパイロットプログラム、Autopilot (Automated driving progressed by IoT) で、フランス、フィンランド、オランダ、イタリア、スペインで、IoT を用いた自動運転の試験が行われた。この試験には IBM、コンチネタル、ファーウェイも参加している。

アメリカ 2020年04月02日 AJOT

■ JTA, Beep, NAVYA が無人自動運転車をドライブスルー採取場からの検体搬送に使用

JTA, Beep & NAVYA autonomous shuttles help transport COVID-19 tests collected at Mayo Clinic drive-thru site in Jacksonville

フロリダ州ジャクソンビル市内のメイヨー・クリニックで、3月30日からコロナウイルス対策のドライブスルー検体採取場と検査センター間での、無人自動運転車4台による検体や資材の搬送が始まった。JTA (ジャクソンビル交通局)、Beep, NAVYA, Bestmile, そしてクリニックが共同で、ルートも含めた搬送パターンを考案した。採取された検体は、クリニックの職員が専用の保管器に収納し、それを自動運転車が搬送する。搬送ルートは歩行者や他の交通とも分離されており、モニターで監視されている。JTA では過去3年にわたり自動運転について研究してきたが、この危機の中でウイルス検査を少しでも安全に行うためにも、その成果が活用できるチャンスと判断したとのこと。

ドイツ (EU) 2020年04月04日 Zeit オンライン版

■ トラックは長距離移動用に設計されており、都市交通では交通安全上の問題がある

Verkehrssicherheit : Nicht für den Stadtverkehr gemacht

トラックは、遠くは良く見えるが近くは見えにくい。そのため、EU は将来的にトラックとバスの設計・製造に関して、死角を少なくするなど、無防備な道路利用者が運転席から視認しやすくなるようにする規定を設けた。しかしながら、これが適用されるのは、新規登録のトラックが2025年11月から、他のすべてのトラックが2028年11月からである。

EU はまた、曲がるときの走行支援システムの搭載も義務付けており、全ての新型車のトラックとバスが2022年から、全ての新車が2024年から適用となる。